避保道署養成&数会形成本

全国儿子会读《

第109号 2019/12/20 発行 日本バプテスト連盟 全国壮年会連合

発行人:山田誠一 編集人:豊永義典

Topics Password ▶ sorengo

神学校献金(神学生奨学金献金)振替00150-7-669605 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局

「新しさの到来 ークリスマスー」

日本バプテスト連盟宣教部長 松藤一作



今年も、たくさんの喜びと悲しみ、また感謝と悔い改めの思いを抱きながらクリスマスの時を迎えました。私たちのこうした様々な思いの中に、主イエスの伴いがあることを信じつつ、その恵みと豊かさを多く

の人たちと分かち合う時として、このクリスマスを 過ごしていきたいと願っています。

さて、連盟結成70年を機に全国で実施されてきた協力伝道を通して、諸教会が直面している課題や、新しい取り組みについて互いに分かち合うことが出来ました。少子高齢化や国境を越えた人々の行き来、また経済的格差や地域格差など、この社会を覆っている様々な課題が、教会も決して無関係ではないことが明らかになりました。他方、価値観や家族形態などの多様化も、教会での聖書の読み方や教会員同士の関係性にも変化をもたらしていると言えるでしょう。

「伝道の行き詰まり」といった言葉が様々な場面で交わされることがありますが、今という時代を生きている私たちが、今に語りかけられる福音を分かち合おうとしているのですから、時代の変化に戸惑い、時に右往左往し、立ち止まってしまうことがあって当然なのだと思います。むしろ私たちが心に留めなければならないことは、こうした変化の時代にあって、かつての在り方や「成功体験」に基づいて今を捉えるのでなく、今、ここで、主の豊かなみ業が、日々新たに起こされていることに思いを馳せることなのではないでしょうか。

主イエスは、新しい時代の到来としてこの世に来られました。クリスマスは、その「新しさ」を喜ぶ時です。また主のみ業は、私たちを、そしてこの世界を、今なお、さらに新たにし続けようとしています。壮年会連合が掲げる「教会形成」と「伝道者養成」の働きもまた、今という時代に新たにされていく必要があるのかも知れません。

地方連合名	神学生奨学金献金					連合会費				
	2019/11実績		前年同月		対前年額	2019/11実績		前年同月		対前年額
	金額	教会	金額	教会	小月月月十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	金額	教会	金額	教会	かり用り一千谷具
北海道	405,356	10	519,280	11	-113,924	75,000	5	42,000	4	33,000
東北	393,772	11	431,767	12	-37,995	79,500	11	66,000	9	13,500
北関東	1,079,212	12	1,077,142	11	2,070	82,500	7	114,000	10	-31,500
東京	1,989,604	25	1,991,882	27	-2,278	130,500	10	117,000	12	13,500
神奈川	1,617,973	12	875,980	11	741,993	141,000	7	139,500	6	1,500
西関東	310,804	6	258,031	4	52,773	60,000	5	27,000	4	33,000
中部	405,597	6	378,260	5	27,337	0	0	0	0	0
関西	626,983	15	601,133	15	25,850	76,500	7	73,500	7	3,000
中四国	737,540	15	693,542	14	43,998	85,500	9	76,500	7	9,000
北九州	522,246	12	594,340	12	-72,094	46,500	6	66,000	7	-19,500
福岡	942,998	19	1,555,050	26	-612,052	117,000	11	187,500	16	-70,500
西九州	202,624	7	286,000	7	-83,376	1,500	1	16,500	3	-15,000
南九州	218,370	10	435,183	14	-216,813	57,000	9	64,500	9	-7,500
個人団体等	502,414	0	75,371	0	427,043	_		_		
総計	9,955,493	160	9,772,961	169	182,532	952,500	88	990,000	100	-37,500
対前年比	1 01 .9%	94.7%				96.2%	88.0%			
個人団体除く合計	9.453.079	160	9 697 590	169	-244 511]				

対前年比 97.5% 94.7% (参考:個人団体等を除く献金額です。)

③11月末現在、個人団体等を除く金額です。献金、会費ともに前年同月を下回っています。(対前年度比で献金が97.5%(約-24.4万)、会費が96.2%(約-3.7万)です)。ぜひお祈りに加えていただき献金増加と共に、充実した連合活動のために連合会費へのご協力をお願いします。

〈第2回奨学金委員会報告〉 開催:2019年11月16日(土)於:連盟事務所

- 連盟総会 理事会 西南大神学部 会計 献金 監査等報告
- ・2020年度西南大転・編入学神学生との面談報告
- ・2020年度貸与奨学金申請者の審査 ※新入生はなく内部進学者のみ ・定期報告・返済計画等の確認とその対応
- ・返還免除対象者の審査(主に2015年3月卒業生を対象)・2019年度奨学金償却者の審査(2019年度末に償却)
- ・西南大神学寮費値上げに伴う2種奨学金の改定 ・奨学金返還対象者等の状況確認 ・中間監査に対する対応
- ・2019年度全国壮年連合総会及び奨学金規程改正に伴う確認事項 ・沖縄バプテスト連盟の取り扱いについて

「献身者が与えられるようにお祈りください」

さい 」 東京バプテスト神学校神学専攻科2年藤原 靖彦 (推薦教会 港南めぐみキリスト教会)



神学校の働き、神学生の学びを覚えての、皆様のお祈りに感謝いたします。また、全国壮年会には、献身を表明して神学生になった学生を対象に「奨学金」を提供頂いております。このような全国壮年会の働きと、教会の

皆様からの献金によって、西南学院等で学ぶ多くの神学生が学費面で支えられていますから、大変感謝です。

私は今、イエス様の福音をお伝えする牧師を目指して、東京バプテスト神学校で学んでおります。働きながら学んで、定年を迎える来年3月に、専攻科

を修了する予定です。そして、招へいがありました ら、牧師として働くことを希望しています。もうす ぐ、年金を受けられる世代ですので、小さい教会に 赴任できれば良いと思っています。

そういう意味で、東京バプテスト神学校や九州バプテスト神学校で働きながら学ぶ5,60代の神学生が毎年何人か与えられたら、無牧師の教会が解消することも夢ではないでしょう。

ですから、老若を問わず、皆様ご自身や教会の兄弟姉妹が献身の召命を頂くよう、お祈りくださいますようお願いします。

「西九州地方連合 神学校献金のために」

2018年度から2年の任期で西九州地方連合の会長を引き受けています。年間テーマは昨年度に引き続き、連合内址年会の交わりの活性化を掲げました。活動の基盤として、連合内の"址年会ネットワーク"作りと交流活性化の一環として"連合址年会ニュース"を発行しました。全国地方連合の働きや身近な連合内の各址年会の活動の様子などを寄稿してもらい、相互理解の一助としました。その中でも神学校献金推進のため、多くの祈りと取り組みが行われていることが分かります。

長崎バプテスト教会では昼食のバザーを行っており、うどん、カレー、夏には冷やしソーメンなど7 〇食も提供しています。また会員献品の野菜の販売 も行っています。

佐賀教会では壮年会員の家で持ち回り家庭集会、 献金は全て神学校献金に捧げられています。壮年の 寿司職人によるユニークな寿司販売をおこなってい

西九州壮年連合会長 岡本吉正(相浦光教会)

ます。

相浦光キリスト教会では毎年、神学校週間に神学生を招き、宣教奉仕と壮年会全員による神学校献金のアピールを行います。月に一二度、昼食に壮年会うどんを販売します。教会に隣接する畑 "光農園" (借地)で季節ごとに様々な作物を作り、販売しま

す。あるれがし動神棒です。またしてするがいながいがいいででの、いらがいいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいががいいいが、金金をあるが、金金を表活をにののでは、



(相浦光教会昼食のうどん作り)

奨学金委員長 篠田裕俊

「奨学金規程の主な改正点について」

1. 奨学金貸与対象学年の拡大

奨学金の対象は、学部3年生からとなっていましたが、これを学部1年からといたしました。また、大学院は、博士課程前期(修士)課程2年間を対象といたしていましたが、博士後期(博士)課程3年間も対象といたしました。なお、貸与期間は、これまで同様に最長4年間となっています。

2. 奨学金返還負担の軽減

奨学金返済は、これまで4年間牧師(伝道者)として従事した場合のみ、貸与奨学金の8割が免除となっていました。今回、少しでも負担軽減を図るために、2020年3月卒業生から、卒業した日から7年経過した日において、牧師として従事した期間が、2年以上3年満は3割、3年以上4年未満は5割、4年以上は8割免除に変更いたしました。また、返済期間をこれまでの10年間(途中辞任や退学者は4年間)から15年間に延長いたしました。なお、原則として、推薦教会での従事期間は、年数には含まれません。

3. 協力牧師は、「専ら伝道の業に従事する者」には含まれないことを、規程に明記いたしました。

壮年大会報告書裏表紙の実行委員会名簿の落丁につきましては、関係者に 多大なご迷惑をおかけしました。お詫び致します。事務局長

日本バプテスト連盟全国壮年会連合 〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4

事務局執務:月、水、金 10:00~16:00**公**·fax:048-886-7533 http://www.sonen.net sonen@bapren.jp